

議会だより、懇談会のあり方等のアンケート

# あなたの声をお寄せください

遠野市議会では、多様な広報手段を活用し、多くの市民が議会に関心を持っていただけるような活動を目指し、アンケートを実施しています。

【期間】2月14日（日）まで



次のいずれかの方法でご回答ください。

- 市政なんでも相談箱に投函する、郵送、FAX、メールで、議会事務局へ！
- 次のQRコードを読み取って回答してください。そのまま送信！
- お近くの議会議員にお渡しください。



## アンケート記載欄

### ■ あなたのことを教えてください。

#### (1) 年齢についてお尋ねします。

- |          |          |
|----------|----------|
| ア、～19歳   | イ、20～29歳 |
| ウ、30～39歳 | エ、40～49歳 |
| オ、50～59歳 | カ、60～69歳 |
| キ、70～79歳 | ク、80歳～   |

#### (2) お住いの地域についてお尋ねします。

- |      |      |
|------|------|
| ア、市内 | イ、市外 |
|------|------|

スマホでも  
こたえられるよ！



### ■ 広報活動について教えてください。


#### (3) 市議会では、以下のような広報を行っています。今までご覧になったことのあるものはどれですか。(複数回答可)

- |                |               |
|----------------|---------------|
| ア、広報紙「遠野議会だより」 | イ、無料アプリ「マチイロ」 |
| ウ、市議会ホームページ    | エ、遠野テレビ       |
| オ、市議会を傍聴       | カ、公式 Facebook |
| キ、いずれも見なかった    |               |
| ク、その他 (自由記載)   |               |

#### (4) 今後さらに充実して取り組んだ方がよいものはありますか。(複数回答可)

- |                    |                     |
|--------------------|---------------------|
| ア、YouTube 等でのネット配信 | イ、SNS「公式 Twitter 等」 |
| ウ、遠野テレビでの議会情報番組    | エ、民放ラジオ             |
| オ、ポスターやチラシ         | カ、現状のままでよい          |
| キ、その他 (自由記載)       |                     |

謹んで新春のご挨拶を申し上げます



遠野市議会議長  
浅沼幸雄

謹んで新春のお慶びを申し上げます。市民の皆様も新型コロナウイルス感染症の影響で帰省客の少ない正月とはいえ、穏やかに過ごされたことと思います。昨年、新型コロナウイルスの猛威に苦しめられた年、といっても過言ではない一年となつてしまいました。オリンピックイヤーとして賑わはずだった一年。このように、社会が大きく変わることを、誰も考えもしなかったのではないかと思います。人類は、長い歴史の中で、疫病をはじめ幾多の困難を乗り越えてきました。令和三年、市民の皆様、市として市議会が力を合わせひとつとなり、新型コロナに負けない良き年といたしましょう。結びに、遠野市の限らない発展と市民の皆様のご多幸・ご健勝をご祈念申し上げます。挨拶いたします。

# 学んで 行動する 議会へ

### 市政調査会

調査日 令和2年11月24日  
参加議員 15名  
場所 市役所本庁舎 大会議室

#### 全国市議会議長会2040 未来ビジョン出前セミナー in岩手

11月例会は、医療法人社団悠翔会理事長・診療部長の佐々木淳氏による「超高齢社会に求められる地域医療のかたち」と題する講演動画を視聴した。

#### 講演要旨

● 地域医療の現状は、高齢者の増加に加え、高齢者の軽・中等症での救急搬送の増加から後期高齢者医療費の増が課題となっている。

● 高齢者は入院をきっかけに寝たきりになったり、認知症が進行したりする傾向がある。そして、入退院を繰り返した後、病院や老人ホームで亡くなる人が80%という現実。

● 高齢者の薬は種類が多く、服用すること自体が難しくなっている。しかし、中には診療科別に処方されているために効能が重複しているという例もある。薬は、かかりつけ医などに相談することも大事である。多すぎる薬が整理され、本人も楽になるはずである。

● 高齢者は、食事制限は少ない。年齢とともに少しずつ太った方がよい。

● 家族・友人・地域が一体となつて、医療、介護を守る事が大事である。友人がいないと死亡率が2・5倍になる。生きがいがある人は長生きをする。人生の目的がある人は、要介護になりにくい。人生の目的が、認知症の進行を抑制する。社会とのつながりが、寿命を決める。

● ACP「人生会議」は、社会的機能「生活の継続」であり、意思決定の尊重である。地域の力が必要。

● 講演を視聴して、高齢者が元気に長生きするためには、人生の終活を支える仕組みが必要であると感じた。そして、今まさに遠野市が進めている『小さな拠点による地域づくり』がその一端を担うことのヒントを得たと感じた。

会長 照井文雄